

第12回福井県がい者スポーツ大会 卓球競技実施要領

1 競技規則

令和4年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則(公益財団法人日本パラスポーツ協会制定)によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 競技方法

- (1) 競技種目は、一般卓球およびサウンドテーブルテニス(以下「STT」という。)とし、5ゲームズマッチ(1ゲームは11点)で行う。
- (2) 試合は、各ブロックのリーグ戦方式で行う。
- (3) 各ブロックは5名以内とし、原則として同一の障がい区分および年齢区分の選手で構成する。
- (4) 出場選手の少ない障がい区分および年齢区分では、別の障がい区分および年齢区分の選手と併せて同一ブロックを構成することがある。ただし、順位の設定、記録の認定および表彰は、それぞれの障がい区分および年齢区分別に行う。

3 競技用具・競技条件等

- (1) 一般卓球の競技用具
 - ア テーブルの色は、ブルーを使用する。
 - イ 使用球は、公益財団法人日本卓球協会公認プラスチック球40mm(白球)とする。
 - ウ 競技領域は、長さ10m、幅5mとする。
- (2) STTの競技用具・競技条件
 - ア テーブルの色は、グリーンを使用する。
 - イ 使用球は、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会公認プラスチック球とする。
 - ウ アイマスクは各自で用意すること。また、アイシェードの使用を可とする。
 - エ 競技領域は、長さ5m、幅4m以上とする。

4 服装等

- (1) 競技を行うときは、競技用の服装(トレーニングシャツ等)を着用する。
- (2) 主催者が交付したナンバーカード(ゼッケン)を競技用服装の背部に付けること。
- (3) 義肢や松葉杖等を使用する選手は、特に支障がない限り、接触面にあてがう布やカバー等を用意すること。

5 選手招集

- (1) 選手招集時刻は、試合開始10分前とする。
- (2) 選手招集時刻に遅れた選手は、原則として棄権とみなす。

6 介助者

- (1) 介助を必要とする選手は、あらかじめ主催者の承認を得なければならない。
- (2) 介助者等の引率者が競技会場に入場を希望する場合は、様式4 競技会場入場申請書を事前に提出するとともに、受付時に体調チェックシートを提出しなければならない。

なお、大会当日の申請については、急遽、介助者を要する事情が発生した場合のみ、介助者(体調チェックシート提出者に限る)の入場を申請できる。ただし、初参加のため「不安がっている」、「緊張している」等、助力行為とみなされる場合の申請は認めない。

7 開始式・表彰式

- (1) 開始式および表彰式は、競技会場で行う。
- (2) 表彰は、男女・障がい・年齢区分毎に1位の競技者にメダルを授与する。

8 その他

- (1) 競技場内へは、主催者の許可を受けた者以外は立ち入ることができない。
- (2) 荒天時他不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途決定する。